

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 9 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県新発田市藤塚浜3310-8

氏名 日本ホワイトファーム株式会社
田中 雄一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0254-41-4100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本ホワイトファーム株式会社 五頭農場 ※旧社名:日本ホワイトファーム新潟株式会社
事業場の所在地	新潟県阿賀野市大室字貝喰2139
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	畜産(養鶏)業
② 事業の規模	27,996万円
③ 従業員数	7名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿:自社で焼却処理→焼却後の灰を特殊肥料として販売 動物の死体:処理業者へ委託→焼却もしくは蒸煮 紙くず・混合廃棄物:処理業者へ委託→焼却 鶏糞焼却灰(特殊肥料として品質に問題がある物を廃棄):処理業者へ委託→埋め立て 汚泥:処理業者へ委託→セメント原料又は燃料として有効利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

生産部長⇄生産管理課長⇄担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状		【前年度 (6 年度) 実績】									
産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥							
排出量	945.00 t	100.26 t	2.03 t	3.30 t							
産業廃棄物の種類											
排出量											
(これまでに実施した取組)											
動物のふん尿(鶏糞)を焼却した際に発生する灰を特殊肥料として販売。											
② 計画		【目標】									
産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥							
排出量	945.00 t	100.26 t	2.03 t	3.30 t							
産業廃棄物の種類											
排出量											
(今後実施する予定の計画)											
動物のふん尿(鶏糞)を焼却した際に発生する灰を特殊肥料として販売。											

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
		「動物のふん尿」⇒鶏糞倉庫で保管。 「動物の死体」⇒死鳥用冷蔵庫で保管。
② 計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
		現状維持。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	産業廃棄物の種類									
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量									
	(これまでに実施した取組)									
動物のふん尿(鶏糞)を焼却した際に発生する灰を特殊肥料として販売。										
【目標】										
② 計画	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	産業廃棄物の種類									
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量									
	(今後実施する予定の計画)									
動物のふん尿(鶏糞)を焼却した際に発生する灰を特殊肥料として販売。										

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	850.50 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	産業廃棄物の種類									
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量									
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									
(これまでに実施した取組)										
動物のふん尿(鶏糞)を焼却した際に発生する灰を特殊肥料として販売。										
【目標】										
② 計画	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	850.50 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	産業廃棄物の種類									
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量									
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)										
動物のふん尿(鶏糞)を焼却した際に発生する灰を特殊肥料として販売。										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
(これまで実施した取組)									
特に実施していない。									

【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥				
	全処理委託量	0.00 t	100.26 t	2.03 t	3.30 t	0.00 t			
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	3.30 t	0.00 t			
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量								
認定熱回収業者への処理委託料									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
(これまで実施した取組)									

【目標】											
① 計画	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体	混合廃棄物	汚泥						
	全処理委託量	0.00 t	100.26 t	2.03 t	3.30 t	0.00 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	3.30 t	0.00 t					
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	産業廃棄物の種類										
	全処理委託量										
	優良認定処理業者への処理委託量										
	再生利用業者への処理委託量										
認定熱回収業者への処理委託料											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量											
(今後実施する予定の取組)											
優良認定処理業者への移行、選定											
※事務処理欄											